

六十周年式典・祝賀会



卒業して38年。式典後クラス会を持ち、今後の生活向上に楽しい団楽でした。(27卒・五井秀子)

回想

村上光枝 (石崎) 18卒

普段は何かと毎日の生活に追われて、昔の事は思い出す事が少ない日々ですが...

在学した頃

小林悦子 19卒

私達は昭和15年に府立六高女夜学校に入學しました...

毎日お暑い日が続いて居ります。同窓生の皆様お元氣にお過ごしですか...

思い出すままに

豊田孝子 22卒

らした舞台が展開されたこと。照明の下での優雅なダンス、日曜の昼に行われた運動会の楽しかったこと...

話の花が咲く

米村栄子 28卒

今回の話題は、同期会とのことでありましたが、私達28年卒の集りは、一年に一回の集りです...

旧友

若月義男 38卒

昭和38年、私たち三クラス一三七名は思い出多い三田高校をあとにしました...

友が招く同窓会

島田幸雄 41卒

なつかしい顔、お世話になった先生方、互いに年はとったが、タイムマシンに乗って直に学生時代に戻れる、時間が逆のぼる空間それが同窓会である。

我が青葉会も六十周年を迎え、十一月二十三日に記念式典が行なわれた。我々が卒業してから早や二十三年が過ぎた。振り返ってみると、我々が入学した頃は、中卒者は金の卵ともてはやされ、集団就職で上京した仲間が多かった。

日本の経済は今や世界一となり、当時と比べようもなく豊かになった。しかし、モノが豊かになるにつれて失なつたものも多い。それぞれの時代がそれぞれ青春であり、優劣をつけることは出来ない。自分の青春は自分が背負って生きて行かねばならない。

同窓会とは、それぞれの青春時代が大事に守られているところである。職場、家庭、日常生活など、我々はいつもストレスにさらされている。ふるさとや実家に帰って気持ちをリフレッシュしよう、明日からまた頑張ろうというようなたまたまで、同窓会を活用していただきたいと思う。今年も11月23日午後1時より母校講堂で行なわれます。是非お会いしたいものです。